

名古屋市某所地中障害撤去工事

【工事名】名古屋市某所地中障害撤去工事

【発注者】某デベロッパー

【元請業者】株式会社清水建設

【一次業者】ジェコス株式会社

【工事種別】地中障害撤去工事

【工法】Wロックオーガ工法

【現場の特徴・課題】

1. 事前の調査・設計で把握し切れていない、図面上では無いはずの地中障害物が発生した
2. 地下躯体の解体・掘削・根切りが進んでいたため、施工ヤードが狭く（幅8m）、三点式杭打ち機等の大型機械は設置できない
3. 施工ヤードが幅8m、延長30mと狭いため、B G等の機械を組立・解体することができない
4. 機械搬入口の間口幅は10 m確保できるものの、低床トレーラーを入場させるための奥行きが不足していきさらに、抑止杭打設箇所にアースアンカーが施工しており、P Cアンカー線を切断しながら削孔・打設する必要があった
5. 予定外の地中障害発生であったため、地中障害撤去に関わる工程をできるだけ短縮する必要があった

【対応策】

- ① スクリュー式Wロックオーガ工法（アポロンAG8500+AGD8000）を採用した
- ② ベースマシンに、隆盛が所有するテレスコ式65tクローラクレーンを採用し、狭いヤードでの組立・解体・施工を可能とした
- ③ 舵切り仕様の低床トレーラーを採用することで、狭いヤードへのベースマシン搬入を可能とした

